



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	Tub	氏名
----	----	----	-----	----

部長から発表された、「東陽小。ゴールド金賞、全国大会代表校は明治、富士、~~双葉~~双葉」この言葉を聞いて、私は、「何で全国大会に行けなかったんだろう。良い演奏ができたのに、どこが悪かったんだろう。」という気持ちと、「双葉よりもランクは低いんだなあ。」という気持ちが入り込んできた。

本音的には、「ゴールド金賞をとることができたから満足かな。」という気持ちと「せーかくだから大阪に行きたかった。」という気持ちがあった。

一夏の練習で、たくさん努力して、がんばったのに、全国大会に行けなかったのが、とても悔しくてしかたがなかった。

「悔しい」とにかくこの言葉しかない。何回も何回

も練習して、合奏でも努力して、みんなで音を  
合奏感のあるように、合わせたりしたのに、何  
で、しん査員の方には、それが伝わらなかつたん  
だろう。このぎ問がすと、私の頭の中を横切っている。  
来年は、信頼してきた先は、い達がいなくなつて、  
自分達が「最高学年となり、最後のコンクールになる。  
最後の年には、今度こそ、またゴールド金賞を取つて、  
さらに、全国大会に行つて、そこでも金賞を取れる  
ように、がんばりたいと思う。

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	打楽器	氏名
----	----	----	-----	----

私は今日のコンクールの言葉を  
聞きたくて、5時前に音楽室に来て、  
とてもときどきしていました。

だけど、その言葉を聞いたしゅん  
かん、とてもびっくりしました。そ

れは、ゴールド金賞だけど全国大  
会は、いけなかったからです。私は、

おんそうしているうちに、ゴールド金  
賞の全国大会を絶対いけると

思ってたからです。しかも、全国大会

にいけたらこうは、富 明治、十

じゅふたは小学校だからです。十じゅ

ふたは小学校には、ぜったーい

まけたくないと思っ、ていました。

だから、らい年、4年生と、3年生と

いっしょに、コンクールに出、て、金賞

をとり、全国大会いけるように、

がんばりたいです！

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	トランペット	氏名
----	----	----	--------	----

私は、初めてこの曲を聞いた時に、とてもいい曲だなと思いました。そして、早くえんそうしてみたいと思いました。今年の夏は去年より暑くて、体育館での練習は思ってたよりきつかったです。でも、練習したかいがあり、金賞をとることができました。しかし、金賞はとれたものの、おしくも全国大会まではたどりつけませんでした。でも、また来年、今年のも年生のためにもがんばりたいです。



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	アルトホルン	氏名
----	----	----	--------	----

バンドフェスティバルが終わってから、すごく結果が知りたくなり、とてもドキドキしていました。演奏の時は、いつもよりは良かったかなと思っていたけど、ふき方を少しだけまちがえてしまいました。でも、すぐ終わってからは、なにも考えられなくなりました。ことが1回あったので、きんちょうしていたのかなと思いました。それから学校にもどって、楽器をきれいにしてから、家にかえりました。結果はだいたい5時に分かりました。結果は、ゴールド金賞で、昨年よりはうれしかったです。全国は行けなかったけど、とても楽しかったし、もっとえんそうをよくするために、今後に役立てていきたいとも思いました。ゴールド金賞というけっかは、かなしくなかつたので、よかったです。来年は、もっと高いもくちょうをもって、もっといい結果がだせるといいな

と思いましたが。でも、結果だけのえんそうではないので

いままでお世話になった先生がたがほごしゃのかたたちに

とてもかんしゃしたいです。

練習はっらい時もあるけど、がんばりたいです。

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	アルトホルン	氏名
----	----	----	--------	----

「東陽小学校は……、ゴールド金賞、ろう金管  
バンドの部長が言ったとき、私は、きんちょうか少し  
やわらぎとてもうれしか、たです。でも、また、部長が  
言いました。「全国に行く学校は」…「めいじふし」…そし  
て、千じゅうたはでました。」その言葉、私はしゅんのみこ  
めませんでした。そして、私の近くには、たか、2人、  
泣いてしまいました。私は、「大阪には行けないん  
たな」という思いで、いっは、いっは、とて悲しくて、  
悲しかったです。また、会ちょうさん(かか)が言うのをじか  
に聞いたわけではないから、泣かたおかたのかも  
しれないです。ゴールド金賞でも喜ぶべきだと思  
うけれど、なぜかあまり、喜べませんでした。  
えんろう面では、今までで一番良かったと思  
います。みんないつもよりたんけつ(のか)かてきたの



かは分からないけれど、一番良いえんそうだった  
と思います。何をすればよかったのか、どうすれば  
よかったのか、それを考えながら、次に生かしてい  
てです。

来年全国に行けるかは分かりませんが、「全カ」  
を出し切ってえんそうしたいです。

来年は、

絶対に、

全 国 へ !!

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	トラン ペット	氏名
----	----	----	------------	----

9月2日、午後6時15分の一斉メール。金賞は取れたけれど全国大会に行くことは出来ませんでした。演奏本番、あわててしまっていつものように川原調にセッティングすることが出来ませんでした。最初のあたりでは、周りに人がいると思ってきんちょうしていたけれど、後半なれてきました。2年間全国大会に行けず、来年が最後なのでがんばりたいです。また、今年はまだアンサンブルコンテストやたかさんのイベントがあるので原々張りたいです。



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	打楽器	氏名
----	----	----	-----	----

金賞を取れたのはうれしかったけど、全国大会にはいけなかった。私は全国大会に出場したことかない。それに六年は今年で終わりがた。どうしても全国大会にみちがかせてあげたかった。今までおこられはなしのスネアでも今日は上手にスネア出来る気がした。がんばった。今までの努力を精一ばい発きました。決果を聞くときかきました。金賞このままだと絶対全国に行けると思った。(全国)行ったのは、めいびらい、せんぱいたばこの3木交に全国大会をとられてしまった。しかし、明治とかいには毎年のように全国にいていて残りの一校を取りあらえて

いるようなものだった。今年は今賞が17校いる。 $\frac{1}{5}$ のかくりつで全国に行けるのだ。今年はその一校を双葉にとられてしまった。私には来年がある。六年には来年が無い。今の内に全国に行っておかないと、六年生がかわいそうだし、しかし全国に行くチャンスなのかいしてほった。六年は申しわけないけど来年は六年の分まで全国大会に行って今賞を取って帰りたい。また、来年はもっと練習してより全国に行けるかくりつを<sup>アツク</sup>上げさせたい。

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	トロンボーン	氏名
----	----	----	--------	----

「江東区立、東陽小学校 金賞」と書いたその時、私は、いける!と

思っていました。たけど、大塚にいける学校の名前には、入って

いながら、それをきいて、涙が出てきた。くやし涙があふれ、

ました。えんそうてきには、~~絶対にきつて~~絶対にきつて!と

思っていました。私は、あの一言をきいて、たんだ"らう。た"か

た"めだ"た"ん た"らう"と思いました。いっているのは、

私た"け"で"は"た"い"。みんなもいっている。それに親たちも

いっている。なせ"た"らう。と"まで"を思っている。

●本当なら、みんなまで、よるこんでいたはずなのに、

みんな涙がでていた。練習と"り"き、ちりてきた。

と曲のおわりに、そうかんじた。あんな"か"ん"は"ってやって

きたのに...と思いました。

私は、思いをしどけいれた"か"つ"も、と"も、と、練習をかん"は"って

いけは絶対に金賞をとれた。といまても、うかいしています。

保護者のみなさまにいろいろ仕事してくれたのに、こんなに

先生とみんながかんば、たのびに、あすこくかよしかつてです。

「東陽小学校

金賞」

6年生、ありがとう!

氏名



平成30年度

水元

バンドフェスティバル東京都大会を終えて

学年	5年	楽器	トロンボーン	氏名
----	----	----	--------	----

私は、金管バンドに入。23ヶ月程練習を

がんばりました。といっても入ってからまだ3ヶ月なのです。

大会では、自分での点をつけるのなら、98点位にしてい

たと思います。(最高100点)とくに、楽器を高く上げるこ

といきました。本番はしてもみんなうして、音を外してしま

いそうになることもありました。けれど、「全国に行きたい」と

という思いがあり、なんとか音を外さなかったのです。

一人一人自分が目標にしていることはちがうと思いました

が「金賞、全国」という思いは全員にあつたと思います。その思

いが一丸となつて、勝利の女神が「私たちバンド」を金賞へ

とみちびいてくれたのだと思います。

私は金管を12月でせめてしまつてもいいかもしれません。でもま

かしたら、来年また私が「がたい彦真」を出すかもし→

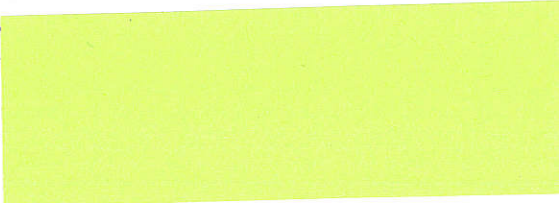
れません。そんなときはまたバンドでー丸とな。

て。全国に行きたいです!!!!



かんぱ  
たね!

氏名







平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	アルトホルン	氏名
----	----	----	--------	----

「東陽小 金賞」という言葉と、「全国に行くのは、  
明治と富士と、双葉」という言葉が頭でごちゃ  
ごちゃになった。実際のことをいうと、何度も泣  
きたくなった。学校のろう下でねっころがって、  
ぼうぜんとしていた。「なんでだよ!」、「ちくしょー!」。  
練習を超えた、今までで一番いい演奏た"と思っ  
ていた僕の夢は終わった。どうしても全国大会に  
行きたかった。そのために努力して練習してきた。  
それなのに、「やっぱり下手なのかな...」。そんな気持  
ちがこみよかかってきた。ネカティフに考えたくな  
いのに、考えてしまう。でも、しょうがない。くやしい  
けれど、いつまでもネカティフ思考た"と、うまく  
なれない。そんな感じがする。「それなら、全国

に行けなくても、これからの練習で全国に行けるようになる実力を付ければいいじゃん」。そんなプラス思考に変わってきた。これからの金管生活では、自分が正しいのかわからないけど、こういうふうなプラス思考を大切に、がんばっていきたいと思った。

氏名



平成30年度  
バンドフェスティバル東京都大会を終えて

水元

学年	5年	楽器	ユーホニウ	氏名
----	----	----	-------	----

「全校大会」の言葉にはたどりつく  
ことができなかった。

音楽室で発表された時、みんな悲し  
そうだった。しかしお母さん達が、

「金賞」だけでもすごいよ、といていた。

私もそう思っていた... や、は、り、く、や、し、い。

私は二回目の「金賞」だ。でも「金賞」とい

う言葉だけでは、今回は、な、と、く、か、い、か、な、か、つ、た。

それに、もう6年生達とは、コンクールに出ら

れない。去年は「銀賞」で終わったけど「金賞」

で終わったから、も、ん、く、や、悲、し、い、く、や、し、い、な、ど、と、

こ、ろ、こ、ろ、と、思、っ、た。けど「金賞」で、く、い、は、な、い。

それに、さうしの先生方も、な、と、く、し、て、く、れ、た、と、思、う。

これからどうなるか分らないけど、か、ん、は、る、ぞ、い、!!